



温室効果ガス排出量削減！ メンテナンスニュース

第154号
社内学習資料

2026年3月発行

私たちは緊急出動ゼロを目指しています！

事業方針：丁寧な・熱心な作業も技術の一つです！

ディスポーザー排水処理槽、適合評価制度の推移、製品認証、そして保守点検は……。

ディスポーザー適合評価制度の推移

平成10年2月	クリーンテック社と松下電器産業の共同開発により、ディスポーザーを使用したキッチン排水処理システムが、建設大臣認定・38条項適用で誕生する。
平成13年3月	日本下水道協会による、ディスポーザー適合評価制度の発足となる。
平成16年3月	日本下水道協会、ディスポーザー適合評価試験・性能基準案の改定となる。クリーンテック社と他11社連合の2方式が適合合格。
平成25年3月	日本下水道協会、ディスポーザー適合評価試験で性能、構造、試験方法を標準化し、工場の認定、製品の認証で現在に至る。

日本下水道協会資料より R6年11月1日更新

日本下水道協会資料より R7年4月20日更新

処理槽、製品認証、取得者等一覧表

会社名	認証番号	認証工場
テラル	DT0115	FRP Assembly八百津工場
テラル	DT0615	大栄産業 東海マリン工場
ニッコー	DT0315	日東電気 磯原工場
ダイキアクシス	DT0415	津島工場
ダイキアクシス	DT0115	信州工場
安永クリーンテック	DT0115	エコプラント 金成工場

ディスポーザー、製品認証、取得者等一覧表

会社名	認証番号	認証工場
マックス	DD0315	吉井工場マックス高崎
安永エアポンプ	DD0415	名張工場
フロム工業	DT0117	フロム工業、工場
テラル	DT0119	テラル多久本社工場
ニッコー	DT0121	埼玉工場
東浜工業	DT0124	久喜工場、浙江省工場

ディスポーザー排水処理槽・適合評価書より

※ メーカーにより点検回数にバラつきがあります！

評価番号 (新規)	会社名	型 式	許可年月日	適合評価書・保守点検回数
茨葉検 D第499号	ダイキアクシス	DSS-SE	H26年3月28日	タイプ2：1回/2ヶ月 タイプ4：1回/4ヶ月 タイプ6：1回/6ヶ月
茨葉検 D第489号	テラル	TSX LixiL OEM	H26年3月3日	1回/1ヶ月 規定の処理性能に達するまでは 2回/1ヶ月
茨葉検 D第487号	テラル	A型 積水 OEM	H26年3月31日	1回/6ヶ月 初年度は、1回/4ヶ月
茨葉検 D第486号	テラル	B型 積水 OEM	H26年3月31日	300人以下:1回/3ヶ月、301-1500:1回/2ヶ月、1500以上：1ヶ月
茨葉検 D第482号	テラル	H型 積水 OEM	H26年3月31日	1回/6ヶ月 初年度は、1回/4ヶ月
茨葉検 D第504号	ニッコー	WTA-M型	H26年3月24日	49-1499人：1回/2ヶ月 1500-5000:1回/1ヶ月
茨葉検 D第505号	LixiL	LPV-4型	H26年2月28日	1回/1ヶ月 規定の処理性能に達するまでは 2回/1ヶ月
評価番号 (経過措置)				
茨葉検 D第488号	安永クリーンテック	CGF、CGM、CGC	H26年3月31日	14-100:2回/年 101-1000:1回/1ヶ月 1000-5000:2回/1ヶ月
評価番号 (同等性)				
茨葉検 D第465号	TOTO	NJ 6200型	H26年1月3日	1回/1ヶ月
茨葉検 D第272号	積水	T 型	H17年3月11日	1回/1ヶ月

※ メーカーによる点検回数には差異があります。放流水質遵守、機器の保守を担保できる点検を模索致します。

水物語 No144 旅の終わりに奇跡が……、心暖まり涙ぐみました！



毎日のテレビに映し出される殺人事件、その犯人を追い詰める推理ドラマには、少々〇〇〇〇です。

昨年末に、久しぶりに女房殿と一緒に映画館に足を運びました。そこで、「東京タクシー」山田洋次監督に魅せられ切符を買い、満席でない観客席で上映を待ちました。

ある日タクシー運転手（木村拓哉）は、同僚からの要請で柴又から葉山の高齢者施設へ、ある老人の送迎を嫌々ながら請け負うこととなりました。

柴又は帝釈天、そこで依頼主85才の高野すみれ（倍賞千恵子）さんに乗せて、一日の旅が始まりました。はじめは無口の二人も徐々に打ち解けます。高野すみれさんは、東京の見納めに寄り道をお願いし、自らの壮絶な人生を語り始め、あちらこちらを駆け巡ります。そして無事に長くも短い一日の旅を終え葉山に辿り着きました。

帰宅した宇佐美運転手は当日のタクシー料金を貰わなかったことを女房君になじられます。しかし、数日後、葉山の老人施設に高野すみれさんをお見舞いに、女房と娘を連れ立って訪ねました。

そこに待っていたのは、高野すみれさんの……、まさかの「悲しくも心暖まる」出来事でした。

戦中・戦後を生き抜いた高野すみれ（倍賞千恵子）さんと、キムタク運転手の演技は流石ですね……。

文字通り山田劇場に引き込まれ、幕が下りるとその「一期一会の結末」に涙腺が緩みました。

山田洋次監督、ありがとう……！

特許 油脂ゼロポンプ槽！HVシステム推進中！ 株式会社 クリーンテック サービス東京